

# 仙台北部道路の開通区間概要

仙台北部道路は、総延長13.5kmの自動車専用道路です。平成14年5月に利府JCT～利府しらかし台ICまでの5.2kmが開通しています。

今回の開通により、仙台都市圏における自動車専用道路の環状ネットワークが完成します。

なお、利府JCTのフルジャンクション化(松島方向とのランプ新設)については平成22年度、富谷JCT～国道4号接続間1.7kmについては、平成24年度の完成に向け事業を進めています。



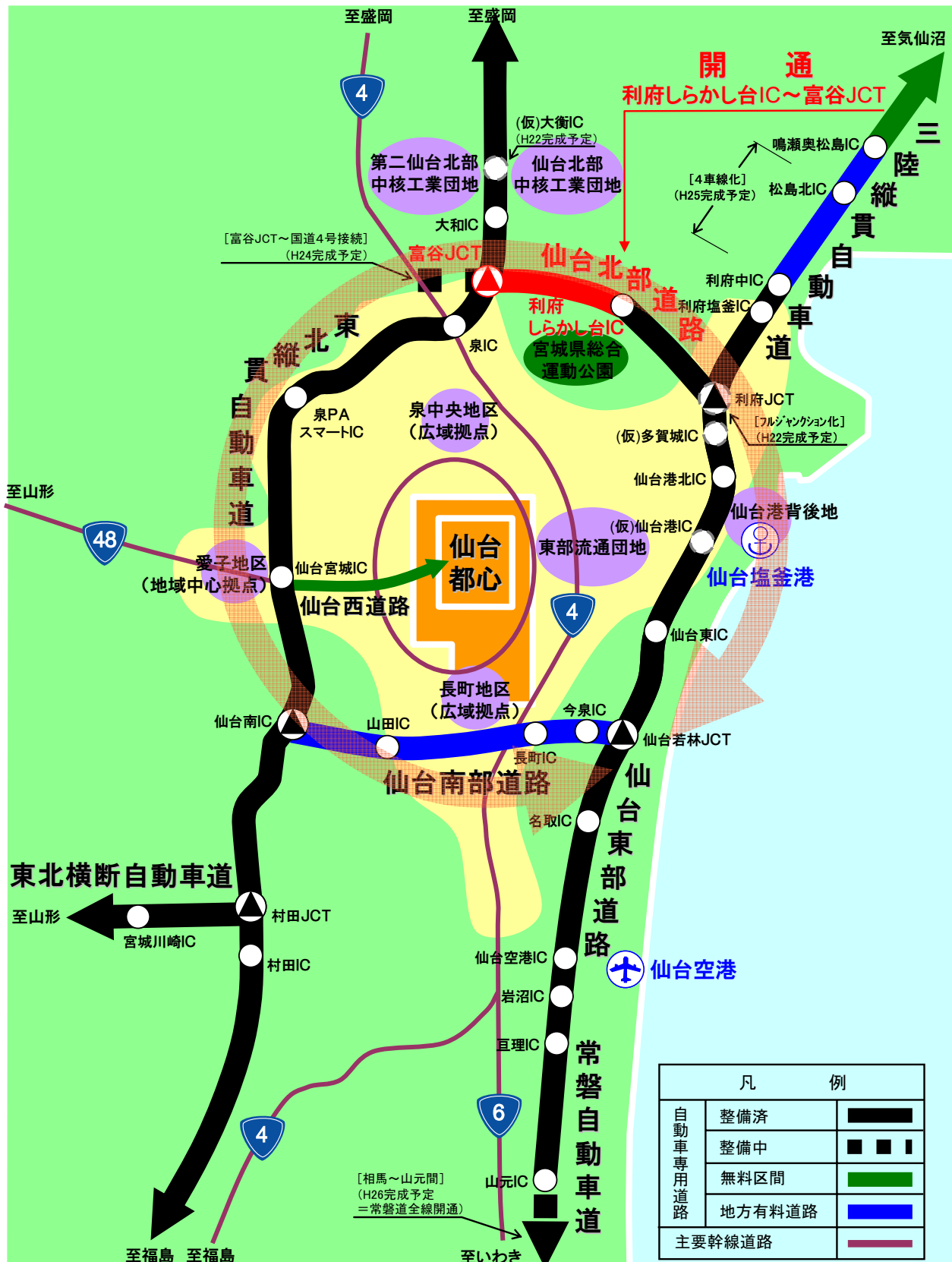
【今回開通区間の事業経緯】	【今回開通区間の主な構造物】	【連結施設】
利府しらかし台IC～富谷JCT 平成5年度 事業着手 平成15年度 用地着手 平成16年度 工事着手 平成21年度 開通(延長6.6km)	【橋梁】 いしづもり 石積高架橋 L=241m なりた 成田高架橋 L=325m (富谷JCT) Cランプ橋 L=64m (富谷JCT) Dランプ橋 L=103m	【利府しらかし台IC】 (主) 塩釜吉岡線  【富谷JCT】 東北縦貫自動車道

【今回開通区間の計画諸元】	標準横断面
区間：【起点】利府しらかし台IC (利府町沢乙) 【終点】富谷JCT (富谷町穀田)	
延長：6.6km	
幅員：暫定11.25m (完成23.5m)	
車線数：暫定2車線 (完成4車線)	
設計速度：100km/h	

# 仙台都市圏環状ネットワークの完成

今回の開通により、三陸縦貫自動車道と東北縦貫自動車道が接続され、仙台東部道路及び仙台南部道路と一体となって、仙台都市圏における自動車専用道路の環状ネットワークが完成します。  
(全周約60km)

これにより、交通の円滑な分散・導入が図られ一般道路の交通混雑の緩和や沿道環境の改善、また産業・物流拠点のアクセス強化、ならびに東北道の災害時の代替機能(リダンダンシーの向上)が確保される等の効果が期待されます。



# 仙台都市圏環状ネットワークの整備効果例

## ○物流の効率化

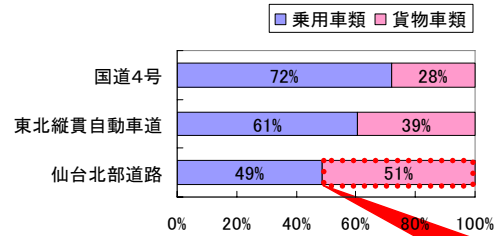
仙台北部中核工業団地と仙台塩釜港を直結する高速物流ネットワークの構築により、アクセスが強化され物流の効率化が期待されます。

■物流の効率化(仙台北部中核工業団地～仙台塩釜港)



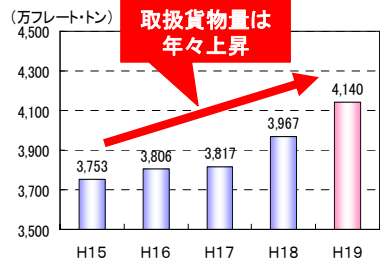
■H17利用交通量内訳(乗用車類・貨物車類)

出典：H17道路交通センサス



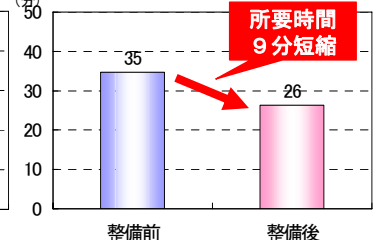
現状でも貨物車類の割の高い仙台北部道路

■仙台塩釜港の取扱貨物量の推移



出典：塩釜港湾・空港整備事務所HP

■仙台北部中核工業団地から仙台塩釜港までの所要時間



出典：現況 (H17道路交通センサス) 将来 (H42交通量推計結果)

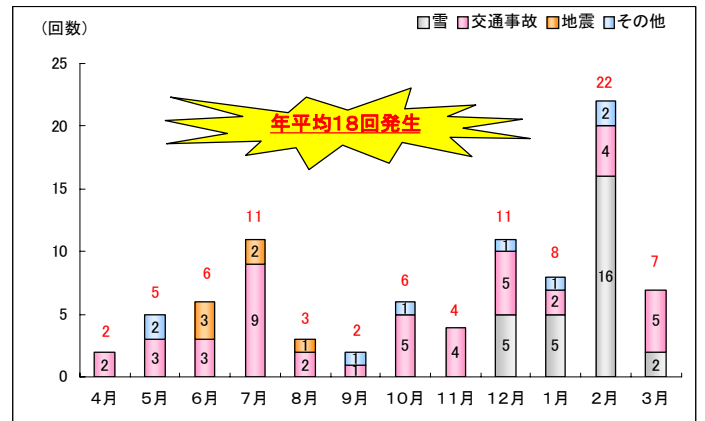
## ○迅速なりダンダンシーの確保

環状ネットワークの整備により、東北縦貫自動車道の通行止め時における、仙台南部道路、仙台東部道路、三陸縦貫自動車道、仙台北部道路による迅速な迂回ルートが確立されます。

■東北縦貫自動車道通行止め時の迂回ルート



■東北縦貫自動車道(仙台南IC～泉IC)の通行止め状況(H16～H20)



出典：東日本高速道路(株)H16～H20年度通行止めデータ